

道路情報データ作成要領

1 経年変化データ整理作業

道路管理システムに入力する道路情報データのうち、道路台帳データ（データ形式：DM）の情報では不足する内容を補足するため、以下の資料を作成・整理する。

(1) 修正対象箇所一覧ファイルの入力

本市道路認定課が所有する「実施路線一覧表（紙）」、及び別途提供する電子データ（Microsoft Excel 2010 形式）を元に、業務対象区間の情報を抽出のうえ、別途担当職員が提供するファイル（Microsoft Excel 2010 形式）にデータ入力する。

●入力項目

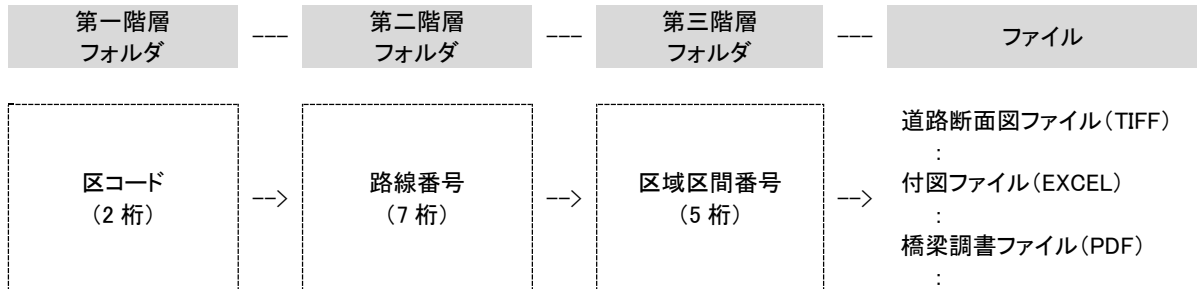
| | |
|---|------------------|
| ① | 区コード（2桁） |
| ② | 路線番号（7桁） |
| ③ | 区域区間番号（5桁） |
| ④ | 種別コード ※分類は下表のとおり |
| ⑤ | 告示コード（3桁） |
| ⑥ | 延長（単位m：小数2位） |
| ⑦ | 橋梁フラグ（空白 or 1） |
| ⑧ | 現況区間番号（3桁） |

●種別コードの分類

| 種別コード | 種別 | 種別コード | 種別 | |
|-------|-------|-------|--------|------|
| 111 | 新規単路型 | 開発行為 | 帳票作成のみ | |
| 112 | | 区画整理 | | |
| 113 | | 私道昇格 | | |
| 114 | | 他部局 | | |
| 115 | | 確定測量 | | |
| 116 | | 供用開始 | | |
| 117 | | その他 | | |
| 121 | 新規団地型 | 開発行為 | 修正 | |
| 122 | | 区画整理 | 道路工事 | |
| 123 | | 私道昇格 | | 改良歩道 |
| 124 | | 他部局 | | 舗装側溝 |
| 125 | | 確定測量 | 橋梁 | |
| 126 | | 供用開始 | | |
| 127 | | その他 | | |
| 201 | 開発行為 | 201 | 帳票作成のみ | |
| 202 | 区画整理 | 202 | 帳票作成のみ | |
| 203 | 私道昇格 | 203 | 帳票作成のみ | |
| 204 | 他部局 | 204 | 帳票作成のみ | |
| 205 | 確定測量 | 205 | 帳票作成のみ | |
| 206 | 供用開始 | 206 | 帳票作成のみ | |
| 207 | その他 | 207 | 帳票作成のみ | |
| 300 | 開発行為 | 300 | 修正 | |
| 301 | 区画整理 | 301 | 道路工事 | |
| 302 | 私道昇格 | 302 | 道路工事 | |
| 303 | 他部局 | 303 | 道路工事 | |
| 999 | 確定測量 | 999 | 橋梁 | |

(2) 道路断面図及び付図並びに橋梁調書のファイリング

本市道路認定課が所有する道路現況区間毎の「道路断面図 (TIFF 形式)」ファイル及び「付図 (Excel 形式)」ファイル、橋梁番号毎の「橋梁調書 (PDF 形式)」ファイルのうち、(1)で作成した一覧表の区域区間に該当するファイルを抽出のうえ、下記階層のフォルダに分けて格納する。



2 道路管理データ作成作業

道路管理システムに入力する道路情報データのうち、道路台帳データに存在しない以下の構造物の情報について、下記参考資料（別紙）の要領で作図する。

●参考資料（別紙）

- 「札幌地区道路管理システムデータ取扱いマニュアル」
- 「札幌市入力原稿図作成要領（地形編・道路編）」
- 「札幌市入力原稿図作成要領（詳細事項）」
- 「情報管路下図作成・入力作業要領」

(1) 道路管理データ作成（ロードヒーティング、地下歩道、流雪溝ライン）

道路台帳データを画像（ラスター形式）の基図として CAD データに取り込み、対象の構造物を追記する。また、作図したデータを PDF 形式のデータに変換する。

(2) 大型案内標識図面作成（大型案内標識）

道路台帳データを画像（ラスター形式）の基図として CAD データに取り込み、案内標識の基礎部分を追記する。

作図したデータを 500 分の 1 の縮尺の平面図として PDF 形式のデータに変換し、位置図及び現地写真を添付する。

(3) 特殊構造図面作成（電線共同溝）

対象箇所のメッシュ図を一般財団法人道路管理センター札幌支部から入手し、これを基図として構造物を追記する。